

# 宮寄証言で明るみ 「つい、ほんまのこと言ってしまった」

野瀬発言＝

## 内幕を知る 証言の重さ

10月21日

「恐喝未遂事件」公判より

去る10月21日、官製談合疑惑をネタにした「恐喝未遂事件」公判が開かれ、一貫して無罪を主張している宮寄議員が被告人質問を受けました。当時、山崎町長陣営の有力な議員の一人ならでは知り得ない真実が明らかになるのではないかと期待もあって、法廷は傍聴者でほぼ満杯状態。緊張感で張りつめ、静まりかえっていました。

官製談合疑惑を解明する立場から重要と思われる2つの場面を紹介します。

昨年7月16日役場会議室で、野瀬主監(当時)に宮寄議員が、問題のICレコーダーの会話(最低制

## 甲良民報

2010年10月31日 459号  
発行責任：日本共産党甲良町支部  
代表：西澤伸明 甲良町在土463  
Tel.Fax38-4949

限価格は山崎町長、正副議長ら4人しか知らない(とされる)の真意をたずねたところ、「つい、ほんまのことを言うてしもたんや」と打ち明かした実相を証言。

さらに、同15日の山崎町長にICレコーダーを聞かせた時も、17日の町長室での6人が会談した時も、18日の野瀬氏、山田議長、濱野副議長、宮寄議員が相談した時もいずれも、「録音の中身は事実でない」など官製談合を否定する発言は誰もしていないことが改めて明らかになりました。

## IC録音の信頼性回復

恐喝未遂容疑で3人が逮捕された6月以降、「恐喝のネタに使われたICレコーダー」とされ信頼性が傷つけられていましたが、重要証拠のひとつとして信頼を回復したのではないかと思います。

## 事件の“なぜ”が見えてくる「しんぶん赤旗」を

「しんぶん赤旗」「滋賀民報」をぜひおすすめします。特に10月31日号の「滋賀民報」は甲良町官製談合疑惑の解明へ、党派を超えた共同を広げている取り組みを一面で大きく紹介しています。



しんぶん 赤旗  
開けば、パッと世の中が見えてくる  
たしかな視点をつらぬく  
あなたのパートナー  
■日刊 2900円  
■日曜版 800円  
地域の声をとどけます  
滋賀民報  
毎週日曜日発行 月350円

## “額に手を当て...”

同じく7月17日午前中、町長室で、当時の町長、山田議長、濱野副議長、野瀬主監、宮寄議員、山口透氏が会談した席で、山田議長が、額に手を当て「濱野を入れなかったらよかった、今から取りやめることできるのか？」と悔やんだように発言したことも証言。

## 「本音の録音を世に出さない」=基本戦略

これらは、当時山崎町長ら4人が「本音をしゃべった録音」を世に出さないために四苦八苦していた様子が浮かびあがり、疑惑は黒に近いと確信できる決定的証言ではなかったかと思えます。

## 次回 証人・日程決める 第9回百条調査委員会

去る29日、ほぼ4か月ぶりに第9回の官製談合疑惑調査委員会を開催しました。

藤堂一彦委員長は、その理由として、次のように経過を報告。

7月5日の第8回本委員会の「報告案取りまとめ委員長一任」の議決に基づき、報告案を取りまとめる為、本委員会の膨大な要点記録を事務局に製本化させるのに、ほぼ一ヶ月近くかかったこと、官製談合疑惑をネタにしたとされる恐喝未遂事件の公判が8月から始まり、本調査と重要な関連性があるので、この裁判で明らかになった事実関係や証言等も本委員会の重要な参考資料・論拠の一つとするため、この公判の推移を見守ってきたため今日までに至ったことを理解してほしい、などと述べました。

先般の公判で、官製談合疑惑の重要部分を証言した宮寄議員ほか、下記の証人の招致を決定しました。

## 第10回百条調査委員会

11月8日(月)9:30開会

甲良町役場2階議場

内容：いずれも証人尋問

宮寄光一議員 9:30~

野瀬喜久男氏 11:20~

山田壽一議長 13:30~

どなたも傍聴できます

思想・立場の  
違いを超えて  
共同広げ、  
疑惑解明へ